

## 図書室より「新着図書」のお知らせ

## 《一般書》

## 『寂聴 九十七歳の遺言』 瀬戸内寂聴

生きる上で大切なこと、すべて書きました— かけがえのないあなたへ贈る  
寂聴九十七歳からの「遺言」  
愛する人との別れ、誰も手を差し伸べられない孤独、突然襲ってくる理不尽な不幸、  
そして老いと死。九十七歳の今だからこそ、答えを残しておきたい。  
あなたはその一言一句をどう心に刻むでしょう。大丈夫。  
いかなる闇にも、必ず光は差します。

## 『母の待つ里』 浅田次郎

上京して四十年、一度も帰ろうとしなかった郷里で私を温かく迎えてくれたのは、  
名前も知らない<母>でした—。家庭も故郷も持たない人々の元に舞い込んだ  
<理想のふるさと>への招待。半信半疑で向かった先には奇跡の出会いが待っていた。

## 『残照の頂 続・山女日記』 湊かなえ

「休筆」前の最新刊!!  
待望の続編!

ここは、再生の場所—。通過したつらい日々は、つらかったと認めればいい。  
大変だったと口に出せばいい。  
日々の思いを噛み締めながら、一步一步、登る女たち。  
山頂から見える景色は、これから行くべき道を教えてくれる。

## 『老後の資金がありません』 垣谷美雨

「老後は安泰」のはずだったのに!  
後藤篤子は悩んでいた。娘の派手婚、舅の葬式、姑の生活費…しっかり蓄えた老後資金は  
みるみる激減し、夫婦そろって失職。家族の金難に振り回されつつ、やいらいする篤子の  
奮闘は報われるのか? ふりかかる金難もなんのその、生活の不安に勇気とヒントを与える  
家計応援小説。